



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月4日

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2814 URL http://www.sato-foods.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 佐藤 仁一  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長(氏名) 上田 正博 (TEL) 0568-77-7316  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,012	8.6	526	67.9	559	58.5	387	396.1
28年3月期第2四半期	2,774	2.9	313	13.3	353	△3.1	78	20.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第2四半期	62.10		61.84					
28年3月期第2四半期	12.52		12.49					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	16,213	14,344	88.4
28年3月期	16,033	14,079	87.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 14,327百万円 28年3月期 14,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,050	2.8	954	24.7	1,012	21.6	669	270.4	107.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	9,326,460株	28年3月期	9,326,460株
29年3月期2Q	3,079,503株	28年3月期	3,079,292株
29年3月期2Q	6,247,112株	28年3月期2Q	6,247,277株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方で、個人消費の低迷や急激な為替の変動等の影響により、国内景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社の当第2四半期累計期間における売上実績は、茶エキスにつきましては、緑茶エキス・ウーロン茶エキス・ほうじ茶エキス等が増加したため、売上高は1,474百万円(対前年同四半期比7.6%増)となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末醤油等が減少したものの、粉末鰹節・粉末魚介等が増加したため、売上高は814百万円(同3.9%増)となりました。

液体天然調味料につきましては、鰹節エキス等が減少したものの、昆布エキス・椎茸エキス等が増加したため、売上高は367百万円(同2.8%増)となりました。

植物エキスにつきましては、機能性植物エキスが減少したものの、果実エキス等が増加したため、売上高は269百万円(同17.3%増)となりました。

粉末酒につきましては、清酒タイプ・ブランドタイプ等が増加したため、売上高は81百万円(同175.4%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,012百万円(同8.6%増)となり、前年同四半期に比べ237百万円増加しました。

損益面につきましては、売上高の増加により営業利益は526百万円(同67.9%増)、受取配当金35百万円(同19.7%増)を計上したため経常利益は559百万円(同58.5%増)となりました。また、固定資産除却損3百万円(同412.0%増)を計上し、四半期純利益は387百万円(同396.1%増)となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における資産合計は16,213百万円となり、前事業年度末に比べ179百万円増加しました。

流動資産については7,516百万円となり、前事業年度末に比べ337百万円増加しました。主に、たな卸資産が113百万円、現金及び預金が102百万円、売上債権が76百万円、それぞれ増加したことによります。

固定資産については8,696百万円となり、前事業年度末に比べ157百万円減少しました。主に、有形固定資産が132百万円、投資有価証券が38百万円、それぞれ減少したことによります。

負債合計は1,868百万円となり、前事業年度末に比べ85百万円減少しました。

流動負債については1,644百万円となり、前事業年度末に比べ79百万円減少しました。主に、仕入債務が80百万円増加したものの、未払法人税等が143百万円減少したことによります。

固定負債については223百万円となり、前事業年度末に比べ6百万円減少しました。主に、繰延税金負債が6百万円減少したことによります。

純資産合計は14,344百万円となり、前事業年度末に比べ264百万円増加しました。主に、配当金の支出が93百万円、その他有価証券評価差額金の減少が35百万円あったものの、四半期純利益387百万円を計上したことによります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ102百万円増加し、4,974百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、280百万円(前年同四半期は48百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益557百万円及び、法人税等の支払額313百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、84百万円(前年同四半期は435百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出62百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、93百万円(前年同四半期は3百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額93百万円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成28年11月4日に公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (3) 追加情報

#### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,872,529	4,974,929
受取手形及び売掛金	1,142,718	1,219,266
製品	547,066	604,486
仕掛品	243,128	280,654
原材料及び貯蔵品	275,031	294,055
その他	99,075	143,191
貸倒引当金	△114	△122
流動資産合計	7,179,435	7,516,460
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,975,955	1,919,079
機械及び装置(純額)	1,595,117	1,515,767
土地	2,468,073	2,468,073
建設仮勘定	9,320	11,174
その他(純額)	116,269	118,482
有形固定資産合計	6,164,737	6,032,578
無形固定資産	29,001	26,183
投資その他の資産		
投資有価証券	2,470,871	2,432,337
破産更生債権等	1,434,007	1,432,620
その他	189,854	205,558
貸倒引当金	△1,434,007	△1,432,620
投資その他の資産合計	2,660,725	2,637,895
固定資産合計	8,854,464	8,696,657
資産合計	16,033,900	16,213,118

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	288,582	368,998
短期借入金	690,000	690,000
未払金	114,038	116,550
未払法人税等	344,382	200,868
賞与引当金	115,000	118,200
設備関係支払手形	3,921	5,523
その他	167,911	144,609
流動負債合計	1,723,835	1,644,749
固定負債		
役員退職慰労引当金	24,340	24,340
繰延税金負債	150,584	144,096
資産除去債務	55,430	55,466
固定負債合計	230,354	223,903
負債合計	1,954,190	1,868,653
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,444,793	4,444,793
利益剰余金	9,033,933	9,328,147
自己株式	△3,428,580	△3,428,796
株主資本合計	13,722,421	14,016,419
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	346,779	311,047
評価・換算差額等合計	346,779	311,047
新株予約権	10,509	16,997
純資産合計	14,079,709	14,344,464
負債純資産合計	16,033,900	16,213,118



## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,774,780	3,012,258
売上原価	2,072,802	2,071,941
売上総利益	701,977	940,316
販売費及び一般管理費	388,537	414,043
営業利益	313,440	526,273
営業外収益		
受取利息	1,169	638
受取配当金	29,856	35,752
貸倒引当金戻入額	3,888	1,379
その他	7,470	3,633
営業外収益合計	42,385	41,403
営業外費用		
支払利息	2,569	2,455
貯蔵品処分損	—	5,730
役員退職金	140	—
その他	31	1
営業外費用合計	2,740	8,187
経常利益	353,084	559,489
特別利益		
受取損害賠償金	—	1,833
固定資産売却益	9	—
投資有価証券売却益	18,722	—
特別利益合計	18,731	1,833
特別損失		
損害賠償金	1,422	593
固定資産除却損	658	3,372
特別損失合計	2,081	3,965
税引前四半期純利益	369,735	557,357
法人税等	291,536	169,436
四半期純利益	78,199	387,921

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	369,735	557,357
減価償却費	207,009	207,750
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,894	△1,379
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,400	3,200
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,230	—
保険解約損益(△は益)	△3,560	△266
受取利息及び受取配当金	△31,026	△36,390
支払利息	2,569	2,455
有形固定資産売却損益(△は益)	△9	—
有形固定資産除却損	658	3,372
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,722	—
損害賠償金	1,422	593
売上債権の増減額(△は増加)	△51,746	△76,548
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,589	△113,530
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△31,511	△44,217
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,076	84,380
未払金の増減額(△は減少)	△19,658	△11,222
未払費用の増減額(△は減少)	△7,005	2,891
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49,622	△27,044
破産更生債権等の増減額(△は増加)	3,900	1,387
その他の流動負債の増減額(△は減少)	11,700	1,862
受取損害賠償金	—	△1,833
その他	5,520	6,488
小計	349,463	559,306
利息及び配当金の受取額	31,023	36,430
損害賠償金の受取額	—	1,833
利息の支払額	△2,595	△2,393
損害賠償金の支払額	△1,422	△593
法人税等の支払額	△328,311	△313,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,156	280,623

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,746	△62,588
有形固定資産の売却による収入	10	—
無形固定資産の取得による支出	△5,740	△2,600
投資有価証券の取得による支出	△404,613	△4,302
投資有価証券の売却による収入	26,418	—
長期前払費用の取得による支出	—	△4,637
その他の支出	△11,059	△11,608
その他の収入	115	809
その他	—	617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435,615	△84,310
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	90,000	—
自己株式の取得による支出	△108	△215
配当金の支払額	△93,854	△93,696
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,962	△93,912
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△391,421	102,399
現金及び現金同等物の期首残高	4,778,937	4,872,529
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,387,515	4,974,929

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、食品加工事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,484,509	7.1
粉末天然調味料	861,703	11.5
液体天然調味料	376,392	7.6
植物エキス	290,802	31.7
粉末酒	86,055	175.3
合計	3,099,463	12.3

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,474,510	7.6
粉末天然調味料	814,415	3.9
液体天然調味料	367,956	2.8
植物エキス	269,896	17.3
粉末酒	81,183	175.4
その他	4,295	45.4
合計	3,012,258	8.6

- (注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)伊藤園	415,607	15.0	473,156	15.7
MCフード スペシャリティーズ(株)	363,695	13.1	388,659	12.9